

指定管理者実績評価シート

1. 基本情報

施設名	旧吉田家住宅歴史公園
設置目的	重要文化財である旧吉田家を中心に、歴史と文化の拠点、新たな観光拠点として設置
指定管理者	名称 一般財団法人 柏市みどりの基金
	所在地 柏市呼塚新田204-2
	※指定管理者が共同企業体の場合は、構成団体名を記入 その他
指定期間	令和4年4月1日～令和11年3月31日（3年目）
施設所管課	都市部公園緑地課

2. 評価 ※ 指定管理者からの各種報告書や実地調査等の結果を踏まえた評価を「評価基準」に基づき記入。

※ 施設の特性に沿って、市が指定管理者に何を求めるのか、それを評価するために適切な評価項目を必要に応じて追加。

※ 評価に対するコメント欄は、市が指定管理者に求める運営内容に対し、どのような結果であったかという視点から、全ての評価に対してコメントを記入。

項目	内容	評価	評価に対するコメント
施設管理・運営	維持管理 施設や設備の保守点検、整備、清掃等の適切な管理が仕様書や事業計画書どおりに行われているか。	B	仕様書や事業計画書どおりの内容で実施された。
	安全管理・危機管理 警備や防犯対策、衛生管理が仕様書や事業計画書どおり適切に行われているか。 防災、防犯、緊急時の対策が整備され、それに沿った運用が行われているか。	B	危機管理マニュアルを作成し非常事態の体制について整備されている。訓練等についても仕様書や事業計画書どおりの内容で実施された。
	職員体制 仕様書や事業計画書に定めたとおり、安定的な運営が可能となる職員体制が取れているか。	B	責任者や受付、清掃員を適切に配置している。
	職員の育成 職員の指導育成、研修体制、接遇状況は適切か。	B	仕様書や事業計画書どおりの内容で実施された。
	運営体制 組織体制、連絡網等によるサポート体制が整備されているか。 委託先との連携は図られているか。	B	組織体制や連絡網について作成、共有が行われ、適正な整備がなされている。 適切な連携がとられている。
	自主モニタリング より良い施設の管理運営に向けた取組みを継続的に行っていているか。	B	利用者へのアンケートを行うなど、適切に取り組みを行っている。
サービスの質の向上	施設の利用実績 仕様書や事業計画書等に定めた利用実績（利用者数等）があるか。	B	利用者数は、計画値に対して約108%と概ね計画通りであった。
	実施事業の質の向上 仕様書で定めた事業や施設の効用をより発揮するような自主事業等を適切に実施しているか。	B	各種イベントや講座、動画撮影等適切に実施している。
	利用者への対応 利用者の平等な利用が確保されているか。 利用者への対応は適切か。	B	施設利用者に対して、概ね適切且つ公平な対応を実施していた。
	利用者満足度 施設の管理運営に対する利用者の満足度はどうか。	B	アンケート集計結果によると、利用者のうち約96%が「満足」「大満足」と回答している。
	情報の発信 施設のPRや広報活動を適切に実施しているか。	B	ポスターやPR動画等を活用し、柏市内外に向け積極的な広報活動を実施している。
	地域等との連携 周辺地域、関係機関、ボランティア等との連携や情報交換等を図り、円滑な運営を行っているか。	B	吉田家文化祭、校外学習の受け入れ等、地域連携や情報交換を行い、円滑な運営を行っている。
効率的な管理	収支決算状況 収支計画書に記載された予算と事業報告書に記載された決算で大幅な差違はないか。	B	人件費の支出などに収支計画時より増加が見られるが、全体として概ね適正であると考える。
	利用料金の徴収 事業計画書どおりに利用料金を適切に徴収しているか。	B	利用料金を適切に徴収していた。
吉田園体	障害者や高齢者等の雇用は仕様書や事業計画書に記載されたとおりとなっているか。	B	法令等に基づき、適切に雇用している。
	市内在住者の雇用確保が図られているか。	B	市内在住者の雇用が確保されている。

年次報告P1

アンケートより

年次報告P14, P25

その他	雇用保険や労災保険には加入しているか。	B	法令等に基づき、必要な保険に加入している。
	最低賃金は確保されているか。	B	法令等に基づき、適切な賃金設定がなされている。
市内産業の振興	市内産業の振興への配慮はされているか。	B	事業契約は市内業者を優先している。
環境保護	環境基本計画、地球温暖化対策の実現に取組んでいるか。	B	環境保護の対策を行っている。
法令遵守	法令等は遵守されているか。	B	コンプライアンスに関する規定や関係法令、体制の構築がなされている。
個人情報保護 情報公開	個人情報は適正に管理されているか。 情報公開請求への対応は適切か。	B	個人情報の取り扱いは適切である。

【個別評価項目の点数換算】

A(優良) : 8点	B(適正) : 5点	C(課題有) : 2点	D(要改善) : 0点
------------	------------	-------------	-------------

総合評価	B(適正)	(合計点 : 115 点) (得点率 : 79 %) ※小数点以下、切捨て (満点 : 145 点)
総評		令和6年度の入場者数は14,057人と、令和5年度(14,229人)と比較すると約2%の減少となったが、計画値(13,000人)を上回る形となった。令和7年1月から、11月頃まで予定されている主屋屋根の大規模修繕工事に伴い、施設の大部分に利用制限がある状況だが、入場者数については大幅な減少は見られなかった。また、利用者アンケートによると、ガイドの対応や飲食物の提供に対する評価は高く、全体としての満足度は約96%と、引き続き高い水準を維持している。管理面においては、施設の小破損等に対し速やかな修繕等対応が行われ、適切な文化財の保全が行われている。

【総合評価の算出方法】

A	優良	該当する各評価項目の最大値(満点)に対する評価の合計値の割合が85%以上かつすべての項目においてB評価以上かつ評価項目【施設管理・運営】及び【サービスの向上】の各区分においてA評価があり、当該2区分におけるA評価が4項目以上
B	適正	該当する各評価項目の最大値(満点)に対する評価の合計値の割合が75%以上かつD評価がなく、C評価が1項目以下
C	課題有	該当する各評価項目の最大値(満点)に対する評価の合計値の割合が40%以上かつD評価が1項目以下
D	要改善	該当する各評価項目の最大値(満点)に対する評価の合計値の割合が40%未満またはD評価が2項目以上

3. 課題解決の結果 ※ 事業年度とその前年度に生じた課題への対応結果を、いつ頃どのように改善したか等を記入

【事業年度とその前年度からの課題】
サービスの向上(魅力的なイベント、商品販売等)や、より積極的な広報活動を通して、引き続き来場者数及び収入の増加に取り組んでほしい。
【課題への対応結果】
魅力的なイベント(吉田家文化祭、吉田家SakuraWeek、吉田ミュージック)の開催や、オリジナル商品(カレンダー、かき氷、ジェラート等に加え、新たな試みとして、工作キット(万華鏡、風鈴等)」やスープ最中等)の販売、積極的な広報活動(広報かしわ、HP、Instagram、イベントチラシの配架等)に取り組み、主屋の屋根修繕による施設の利用制限を受けながらも、来場者数について昨年度と同等を維持した。また、自主事業収入については、昨年度比約10%増加の結果となった。

4. 次年度の管理運営に向けた課題

※ 次年度の管理運営に向けての課題や指定管理者に取組んでほしいこと等を記入

利用者層の拡大と収支改善が課題となっている。引き続き、多様なニーズへの対応、近隣施設との連携強化や、新たなアイデア募集の仕組み構築等、継続的に取り組んでほしい。
--

5. 労働条件審査の結果

※ 審査結果の総評を記入

各法令及び規則等に基づき、適正に運用されている。
